

会誌 第9号

野みふ



自治会〃地区懇談会〃より

自治会長

今年度の自治会運用の参考に供すべく、五月から七月まで、ブロック別懇談会を四回にわたり、実施して参りました。此の間延べ一〇〇世帯の御参加を得て、貴重な御意見を提言されました事を感謝申し上げますと共に、更に、会員名位の御協力を仰ぎ乍ら、自治会の発展に、努力致したく存じます。

以下懇談内容の一部、共通話題の中から、御報告並びに御要望をお伝え致します。

一、空地の除草について

三公園を含む共有地は、会員の協力で定期的に実施され、整備されております。問題の私有空地については、衛生委員の方から地主へ

の除草要請を継続しておりますが不完備な現状であり、今回の懇談会では、一部の方から隣接地の皆さんが自主的に実行されたらどうか、と提案がありました。防災上からも空地の多いブロックは組単位で実行される事を要望します。用具などは自治会事務所に常備されておりますし、実行に当っては自治会としても若干の補助を予定しております。

尚現在つきみ野老人会では空地除草に奉仕されている事をお伝え致します。

二、側溝の溝蓋補修について

五月清掃時に補充枚数を市へ要求し、配送されておりますが、枚数など在庫の関係で、制限されており、現在一部の補修は終わっていますが、全部を充足することが困難です。未

だ若干枚数、私宅前に予備がありますので、申し出て頂ければと考えます。コーナリ用は特寸なので再度補修方法を相談致し度いと思います。溝蓋は軟質のために自動車の通行などお互に注意し、破損防止に協力される事を願います。

三、回覧板の配布日を統一出来ないか。

現状発生に依じて、組長を通じ配布されておりますが、緊急を要するもの以外は、配布回数を縮少する様、努力し度く思います。

四、防犯灯の増設について。

組長を通じ、増設場所など具体的な要望に基いて、対応していきたいと思えます。現在新規増設が、一ヶ所認可されています。

五、通学路の増設及び変更について。

防犯、保安上から、つきみ野PTAを中心にアンケートが収集され、実行準備の段階です。現在の通学路も五月に地主の諒承を得て樹木の除去作業を行い、明るい環境下にあると思えます。

六、側溝清掃用、備品購入について。

清掃時、留り水をすくい上げる用具を購入するという要望に対して、長尺のものを二基購入し、自治会事務所に用意しますので、御利用下さい。

七、道路の補修について。

道路補修は随時実行されておりますが市とも更に接渉を重ね、完備を期し度いと思えますので、要補修路の届け出をお願いします。

八、不燃物、可燃物置場の増設について。

世帯数の増加に伴い、市との交渉又場所の選定など条件を充す様、努力しておりますが現在設定されているところでも、不燃物と可燃物との区別ルールを守る様、心掛けましよう。

九、其の他

団地内の道路に自転車の放置、あきかんの投棄、又猫による被害、散歩時の犬の糞による苦情など、秩序、モラルに関する苦言が、多数ありました。自治会員の良識ある行動の中から、住み良い環境作りが期待出来ると確信致しております。

簡略ですが、今後共御意見を参考に、自治会役員共々、会の運用を計って参り度いと考へております。

以上

「裸の団地」

横山 昭三

何時の世からか恐しいものの例えに、地震、雷、火事……とあり、あの方方はダンプ、暴走族等変る事がありますが、常にトップの座は揺がず益々新聞誌上を賑している今日此頃です。既にご存じの事と思いますが先月不幸にも火災が発生しましたが、何等な術ベもなく消防署、消防団の活動を見守っているだけでした。この様な事では今後予測しない大きな災害が発生した場合前述の比ではなく団地は団地住民で守らなくてはならないと思えます。そのためにも緊急事態が発生した場合適切な措置、行動を講ずることが出来るよう早急に緊急対策組織を確立し人的及び物的

被害を最少限にとどめることを目的とするためその組織を作る事が急務であると痛切に感ずる次第です。それには皆様方のご理解とご協力がなければどうすることも出来ません。現在会長始め役員一同で検討を進めております。会員各位におかれましても大いに関心を持っていただき尚一層のご協力とご支援をお願い致します。



五十三年度自治会行事計画

四月二十三日	才五回総会
五月 十四日	地区座談会
五月二十八日	下水溝清掃
五月三十一日	地区座談会
六月 十一日	公園の除草
六月 十八日	地区座談会
七月 九日	地区座談会
七月 十六日	不用品即売会
八月 五日	つきみ野納涼大会
八月 六日	〃〃〃〃〃
八月 二十日	市民総ぐるみ大清掃
十月 十日	大田地区体力づくり運動会参加
十月	つきみ野リクレーシヨン大会
十二月	餅つき大会
三月	新旧組長会

昭和53年度つきみ野自治会 会計(中間)報告

会計 田 村 武 雄
大 和 勝 世

前年度繰越金 1,194,232円

当初予算	決算額	予算に対する割合
収入 1,750,000円	1,141,129円	65.2%

	自治会費	1,009,300
(内 訳)	児童館負担金	19,800
	市交付金手数料	33,970
	利息その他	78,059

支出	2,310,000円	1,091,995円	47.2%
手持金現在高		1,243,366円	
(内訳) 現金		46,586	
預金		1,196,780	

(注) 主なる支出項目および金額

寄 附 金	258,078円	消防団、日赤社費
		福祉協議会ほか
自治会行事費	168,761	不用品即売、夏まつり
地域交際費	140,110	清掃費、火災費用
サークル補助金	180,000	12サークル交付金

青少年への理解を深めるために

青少年指導員

「今時の若い者は」という式の言葉は、今に限らず、常に昔から大人から若者に向かつて投げかけている言葉です。たしかに、大人の目から見れば、今時の若い者は仕様がなと見られる面が少なくありませんが、そういう大人が若い時にはたしてどうであったかという事を考えると、基本的にそう変っていない事に気がつきます。又、一方若者達は、こういう大人の批判に対して、即座に「時代が違ふ」と軽く受け流してしまします。

たしかに今の若者達が育っている時代と、大人が青少年を過した時代は大きな違いがあり、その時代を背景にしたもの、見方考え方が異なるのはむしろ当然と言えるでしょう。

しかし一方では、どんなに時代が変っても人間としての根元的な心の持ち方などと言うものは、そう変わるものではないとも言えるでしょう。従って現代の青少年を理解するためには、ただ単に大人と若者の意識や行動の違いだけをとり上げて皮相的に理解し、批判してみても青少年を指導し、説得する力にはならないでしょう。その意味で、現代の青少年が育っている時代の社会体制や風潮などの背景を知り、それらが青少年の意識や行動にどんな影響を与えているかという事を理解する事がより良い指導を行なう上で必要な事であり、以上

「青少年指導員のしおり」から



衛生委員

国定睦子

清掃、除草、殺虫、その他美化を保つための諸々の雑事と、衛生に関する仕事は、数多くあるものです。しかし、これらの仕事は全部、少数の人々が、力んで見たところで、どうしようもないことばかりで、皆様のご協力をいただくことが先決になって参ります。

冒頭に早や、ご協力をお願いしてしまいましたが、この一人でも多くの方々に参加をいただくと言うことが、一番大切な要素になって来るということを痛感致しております。

この団地の清掃については、当分の間は、市からの委託作業になっており、自衛を余儀なくされていることもあって、重ねて皆様のご協力をお願いする次第です。

今年は特に清掃の日が立込んで、休日の休

息の時間を取ってしまい、心痛んで居りましたのに、予想以上の方々の参加を頂き、無事済することが出来ました。有難うございました。それから、未建築の空地の除草についても老人会の方々のご奉仕は、健康のためとは、おっしゃるけれど、大事を果して下さっています。

そしてまた、一面識もないという隣人の草を何年も除草下さっている方々、その他ご近所合せての、除草への奉仕等々、数多くの陰のご協力がございます。これらのご協力に答えて、自治会では、土地所有者の自主管理を呼びかけ、それに手をつけ始めましたし、更に、年何回かある清掃の日も、参加者多数を前提に、二回参加を一回に、三回参加を一回にと改め、合理化の方向に持つて行くべく、努力して、相互利益を計りたいと願って居ります。

「敬老の日に想う」

三 浦 太 郎

例年になく暑い日が続いた。今年の夏も九月の声を聞くと、一変して涼しくなり秋景色となりました。

九月十五日は「敬老の日」です。家内が民生委員と云う役を仰せ付かっている事もあって、此の「つきみ野」にも七〇才以上の方が三十八名も居られる事を知りました。何才から老人と云われるかは知りませんが、今の私も暑い真夏を過ぎて、九月の涼しさの中にいる事は間違いなく、何時此の「涼しさ」が「寒さ」になるのか「それが心配」と云う此の頃です。

戦後三十数年もの間、私達年代の者は、とにかく「よく働いた」と云うのでしうか、昔の事を考えると随分「豊か？」になった

ものです。それが「良かった」か「悪かった」かは別問題として此の間の医学・公衆衛生の進歩や生活の向上が此の国の平均寿命を世界一にしてみました、云うではありませんか。そして一方進む核家族化・住宅事情からの別居等の問題もからんで延びた寿命の長さだけ、それをどうするか新しい課題が出て来ました。老人福祉論がそれで、家内から聞く研修会や事例の事実を耳にしてそのむづかしさを痛感させられます。

先日機会があつて、伊勢原市の「施設めぐり」と云うので、市も此れ等の問題に大変力を入れられているのに驚きましたし、最近お近づきになった方々でも地域毎の色々なサークル等で元気に御活躍、御発展されているのに感心しました。しかし其の様な事が出来るのも元気で居られる間の事で一旦事の起った

後は、その人、其の家族だけではどうにも仕様のない事も起るかも知れません。今の日本の福祉制度がそれを何処まで助けてくれる事が出来るか知りませんが、そんな時にも是非民生委員を通じて各関係機関との連携を計り、最大の福祉を受けられます様お願いします。

坐　　る

松　野　豊　夫

早いもので、夏の暑い盛り、東京は立川の在、武蔵野の面影を残した、くぬぎ、なら等の雑木林や、大きな樺の木、豊かな自然に、囲まれた公団住宅（けやき台団地）から引越して来て、もう二ヶ月になります。

スーパーマーケット、商店街、診療所、幼稚園、小学校、公園、グラウンド、それにゴルフ練習所等が、歩いて五分以内の処にあった、今迄の生活環境に比べて、可成り不便である事を我慢すれば、武蔵野台地とは異った、田園風景の自然環境は、故郷に帰って来た感じで、落着きます。子供達は団地の3DKから広い新しい家に移った事が幼い乍ら、大変嬉しいようで、毎日元気に過ごしています。

まずは、女房子供達は満足の毎日です。

さて、問題は私の通勤です。

朝七時に我家を出ます。目白にある会社には、丁度九時に到着します。通勤時間はキッチン二時間、平均的なマイホームからの通勤時間は、一時間半との事ですので、これは、大分平均をオーバーしております。

しかし　お蔭さまで、今迄あまり読書などしなかった私が、朝夕の通勤時間に、本を読むようになりました。

処で、今迄の通勤は、国電の中央線で、国立駅から新宿駅まで約四十分。高尾、八王子から来る電車は、既に超満員の状態ですので座る事は思いもよらず、坐るなんて事は、全く期待だにできなかったのですが、伊勢原からなら、大分遠距離だから、坐れるのではないかと確信しておりました。なまじつかに確信したら、坐れるのが当然と思うようになり、思ったのです。

処が、処が、夏休みの内は、どうにか毎日坐って行けたのですが、九月に入ると、学生が、そんなに増えたとは思えないのに、どう云う訳か、あまり坐れなくなりました。

坐れると云つても、伊勢原駅から直ぐに坐れるのではなく、途中の本厚木、海老名、相模大野と云った連絡駅で、下車する人のあとに坐る訳で、下車する人がいなければ、坐る

るのは、全くシャクにさわれます。可愛い女

事が出来ないのです。唯、莫然と乗っていたのでは坐れないのです。途中で下車しそうな人の前に、立っていないと坐れません。

先日も、私の前の人が新宿まで降りなかったものですから、一時間半立ちっぱなしでした。大体はいつも、途中下車をしそうな人を狙って、その人の前に立っているのですが、どうやら、九月に入って、引越疲れが出て来たのか、その感が鈍って、当りはづれが甚だしく、足を棒にする日が多くなりました。

他愛のない、朝の通勤電車での、坐れるか坐れないかの話ですが、一度坐れると確信したものですから、坐れないのが口惜しくて、ならなくなったのです。途中下車するだろうと狙った相手に、気持ちよさそうに、コックリコックリと新宿駅までやられたり、私の後から乗車した人が運良く私より先に坐ったりす

るのは、全くシヤクにさわれます。可愛い女性もこの時は憎らしく感じられるのは私だけでしょうか。

ともあれ、毎日、朝七時に我家を出て、伊勢原駅から通勤電車に乗っております。

さあ、今日は坐れるかな――。



なつまつり

三年 池田則子

まちにまつた、つきみ野の夏まつりに、わたしは行き、おみこしをかつがせてもらい、



ほんとうにうれしかった。おみこしをかたにのせてみたら、思っていたよりおもかった。

「ワッシヨイ、ワッシヨイ。」

と元気な声を出して、おみこしをかつぎ出した。まっすぐに歩こうと思っても、ジグザグになってしまった。きゆうけいじよで、やすんでいたとき、お母さんたちからもらった、お茶が、つめたくおいしかった。はじめは、「おみこしをかつたのかなあ。」と思っていたら、自治会の人たちが作ったそうです。ほんとうによくできていたのでわたしは、びつくりしました。らい年は、もっと大きくなるので力が出て、じょうずにおみこしをかつげるかもしれません。らい年の夏まつりでおみこしをかつげるのをたのしみにまっています。

みこしについて

五年 川越宏之

ぼくは、おみこしをかつぐのは初めてで、すごく感動した。

不まじめでかついでいた人を見ると、そういう子が前になると、みんなのめいわくだ。でも、今度やる時は、いないでほしい。もとわというと、大きい子が、あまりこなかったの、一人が、力いっぱい出さなければならなかった。

「ワッシヨイ、ワッシヨイ、ワッシヨイ」と言つて歩く人もいるし、シーンとして歩いている人もいた。ぼくはどっちかと言うと、大きな声で歩いた方だろう。

来年もやるとしたら、みんなで力を出して
かつぎたいと思っています。今年は、こしの
へんで持っているようにやりましたが、来年
は、かたで、大きな声でやりたいと思ってい
る。

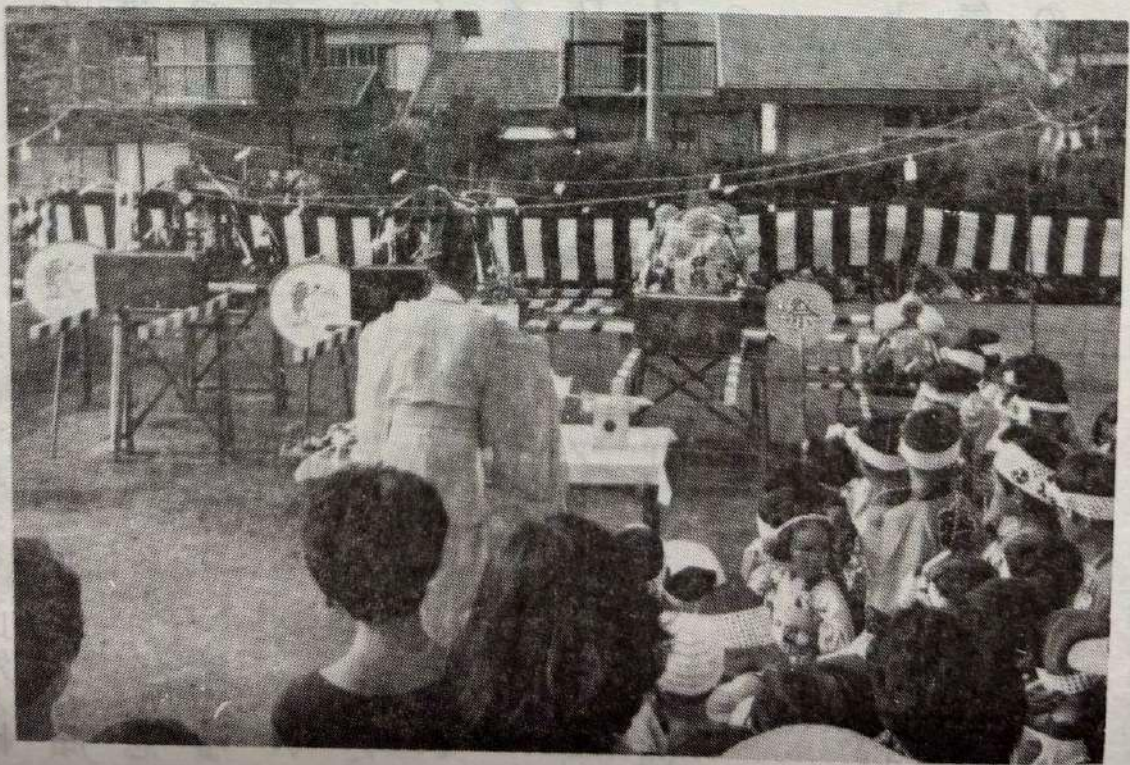
今年のみこしは、約八十点だな。来年もか
つぎたいと思う。

おみこし



六年 大塚賢一

おまつりの主役はおみこしだ。でも、ぼく
はおみこしをかつぐ前、心配だった。それは
あんなおもそうな、おみこしがかつげるかと





いうことだった。かついでみると、以外と軽いなと思った。友達も、別におもたそうな顔はしてないし、このままかついでいけると思ったが、急に小さい子が、加わると、重くなってきた。「ワッシヨイ、ワッシヨイ」というかけ声が「ヨイシヨ、コラシヨ」になった。ふと、ふり向くと小さい子が、ぶら下っているのだ。それでもがんばって「ワッシヨイ、ワッシヨイ。」前で「ワッシヨイ」後ろで「ワッシヨイ」と、つきみ野団地をぐるりと回って、児童館におみこしを納めた。

ぼくは、六年。もう、おみこしをかつぐことではない。それを思うと、すこし、さみしい気がする。おみこしは、とてもおもしろいのだなあと思った。

ほんとうの笑顔

橋 本 利 道

サルスベリの花も、暑かった夏も過ぎ、もうキンモクセイの花も、ちらほら金色の蕾が見える秋の彼岸のさわやかな、気候になりました。私は先頃も云いましたが、日本中で一番いいところ、わが家です。世間の眼が、巷の声がどうあろうと、わが家はいつも安息所。身も心も休まるところ。愛のつながるところ。一家団らん、笑い声のするところ。この様なわが家が大好きです。

近頃、笑いを忘れた人が多い。にが虫をかみつぶした様な顔。すごい顔。淋しい顔。物足りない顔。たまたま笑えば作り笑い。にが笑い。やけくそ笑いか、ばか笑い。ほんとうの笑い顔にはなかなかお目にかかれない。そこ

で、夏祭の民芸御輿をかついだ子供の笑顔思い出した。ハッピー姿に、ネジリ鉢巻の幼児から、中学生の心の中のほんとうの、童心笑いを見て、この素晴らしい笑顔に、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、おとしより、共に、ワッショ、ワッショ声をかけ、無心の笑いに声援したことでしよう。

人生は夢だという、楽しく、自由で、とてもなくすばらしいようであっても、結局はかない幻でしかない。現実、もつときびしい。その現実を生きねばならぬのが、人生の定めである。



つきみ野囲碁の会より

幹事 五十嵐 和夫

発足以来、二年目を迎え、毎週日曜日午後児童館での定例自由手合せが定着してまいりました。今年度は初心者講習を開催し、子供及び女性の方十名位の参加を得て、囲碁の楽しみを、分ち合える事を望み乍ら、定期的に実施されております。

年々囲碁愛好者が増加する中で、一部学校では正科として採用されているとも聞き、又外国人の間でも、愛好者が急増する現状です。ささやかな趣味のきっかけが、国際交流を果すかも知れず、初心者講習を継続していき度く、一人でも多くの参加者を希望致します。

現在つきみ野囲碁の会は、四段以下、三十名の会員で構成され、定期大会と同時に、日

曜日の定例碁会の中で、和気あいあい、憩の場として、頭の体操を続けております。

囲碁の会は、つきみ野居住者が居住地で、いつまでも趣味の充足を補える様な、雰囲気作りに専心し、多くの方の参加を御待ちし度いと思います。

尚運用会費として、新入会費千円、月額会費三〇〇円が今年度の活動費となっております。入会その他、囲碁の会に関するお問合せは、今年度の幹事である次の方へお願い致します。

- | | |
|------|-------|
| 一―二組 | 小林光雄 |
| 二―一組 | 平原 卓 |
| 四―三組 | 菅野邦男 |
| 五―三組 | 五十嵐和夫 |
| 六―二組 | 瀬上 渉 |

いい汗をかきましたよ!!

ソフトボールチームの近況

岡 本 昌 司

打った!

走った!

笑った。

そして

ビールで乾杯した!

「つきみ野」ソフトボールチームは、

こんな感じのする爽やかな「父ちゃん」の
集まりである。

勝っておごらず、負けて嘆かず、ひたすら
スポーツマンシップにのっとり、何よりも健
康オ一で、楽しくやっております。

どういう訳か、ソフトの試合日になると、
雲ひとつない青空になるから不思議です。

過日も、快晴の秋空の下。東海大のグラウン

ドで、地元の伊勢原の大竹チームに圧勝（二
連勝）して、すっかり気をよくしているところ
です。（子供会の差し入れのサイダー、お
いしかったですよ。ごちそう様でした。）

練習は、冬期間を除けば、大体、月一回程
度、練習をかねて試合があります。伊勢原市
の大会や地区の大会などにも参加しています。
スポーツの好きな方、どうぞ会員になって
下さい。お待ちしております。

ゴルフスイングでも十分に打てますよ。と
にかくソフトボールは大きいんです。目をつ
ぶって振り回しても、一回位は、ヒットが打
てます。おとなりの若いお父さん! 一緒に
やりませんか。

「天には星、地には花、そして人に健康」
楽しく、いい汗をかきましょう。

申し込みは、

我妻まで。

つくしっこ

大橋 喜美子

私達の会の目的は、子供の遊びを中心とした親子の集まりです。心をかよわせ合う大切な場にしていきたい為、みんなで話し合い、みんなで決めて協力しあっています。

子供達は、週一回、金曜日に児童館に集まり、親からはなれて、絵画・粘土・平均台・とび箱・マット・ボール遊び等しております。夏期には、外でプール遊びもやっています。

その他には母親も一緒に、夏期リクレーション、クリスマス会、歓送迎会等楽しい会合をもっています。また、人形劇作りも、母親達の楽しいおしゃべりの場になっています。

先生……外崎 章子

小林 征子

会費……入会金 千円

毎月 千円

対象児……三、四才児

電話

大橋

歩く会

坂田 綾子

歩く会の回覧板、それは古いノートです。

お知らせと一緒に回覧されますが、それには今まで歩いた記録がのっているのです。沼田週辺、伊勢原の史跡、恵泉短大見学、だんだん足をのばして、大山、日向薬師、鎌倉、蓑毛、箱根等々、それは歩く会の足跡です。歩

くことによつて、ただ知らない町を歩き、峠を上り、川の流れの岩の上でお弁当を開く楽しさのほか、歩きながら知る町の辻の名、植物の名、それにもまして、人と人の心のふれあいに明日への活力を、見いだしたりします。何時か歩く会の回覧板がお目にとまったり、会員の方から歩く会のお知らせをお聞きになったりして、よろしかったら何時でも御参加下さい。

現在会員 三十八名

今年度に入つての行事

四月 大秦野より震生湖を経て渋沢峠越え

五月 青葉の北鎌倉

七月 六月雨で中止になった中津溪谷 宮

ヶ瀬より半原まで

世話人 野口

坂田

手芸部より

広瀬貴代子

昨年は、皮工芸、藤工芸などいろいろと、やりましたが、袋物の希望者が多数のため、今年、一年間を通して、小物からはじまり、扇まちバックなど、いろいろと、つくる事にきめました。袋物と、いつでも先生により、作りかたがありまして、今回の先生は、洋服のあまり生地とか、和服の残り布又は、ふろしきで、つくります。大変部の人達も、なごやかな、ふんいきで、やっております。出来た作品は、道観祭りや、文化祭に、出品致しております。夏のおさと帰りの、おみやげに、手作りを、

プレゼントするのに、なかなか人気が、ありました。

自分で作って、友達や、肉親に、差上げるよろこびが、できて、部員の人達も、大変よろこんでおります。

連絡先 広瀬

つきみ野のコーラス

吉山厚子

私達「つきみ野コーラス」は、歌の好きな人の集まりで会員相互の和をはかりながら、毎週金曜日午後一時より二時まで児童館に於いて小池貞介先生のご指導のもとに練習しています。会長さんはじめ役員さんそして、皆様のあたたかいご理解のおかげで、合唱協会

よりお借りしましたピアノの調律もできまして、九月より使用できるようになりました。

ありがとうございます。みなさま方も何かの催し等でピアノをお使いになりたいときは、役員に申し出ていただいて、是非ご利用下さい。今は、十一月三日の合唱祭を目前に控えて会員みんなで心をあわせて練習に励んでいます。歌のおすきな方は非入会をお待ちしています。

連絡先 岡本

岩崎

卓球サークル

梅村ミツ子

卓球は、誰にでもすぐ親しめる、楽しいスポーツです。

つきみ野母親クラブ

日頃運動不足と感じられている方、一汗ながしてみませんか？ 県連盟副会長の米山末江コーチにより毎月一回基礎からすべての試合形式まで指導いただいております。又希望者には、県や市で行なわれる大会にも出場したり各会館・児童館などに練習試合にも出ております。春の神奈川県家庭婦人卓球大会には、ブロック別で準優勝いたしました。今度行なわれる秋の大会には是非とも優勝したいものと部員一同（十四名）はりきっております。

練習日 水曜日九時～十三時まで

会 費 三〇〇円

場 所 児童館

入会又は詳しいことをお知りになりたい方は

梅村 電

中台 電

まで

つきみ野母親クラブ

鈴木 康子

目的 このクラブは母親同志が互いに親しみ合い、子供に対しての正しい愛情と知識と技術を高める為勉強し、子供を取り巻く生活環境を整え改善して、子供達の幸せを高める為の活動を致します。

今年後半の予定

十月三日 移動教室 テーマ「冠婚葬祭入門」

講師 小枝ひで子

(消費生活コンサルタント)

十一月 みかん狩り 市内みかん園

十二月 料理伝達講習会 食生活改善指導者

講習会で勉強中の方々が日頃の腕を振って下さいます。

一月 新年会

二月 ピンポン大会 美容と健康を兼ねて

三月 反省会及び新役員選出

会員数 現在二十一名

会費 年間二千元 市より八千元、自治会より一万円の助成金を戴き活動費としております。

定例会 毎月才二木曜日午前十時より十二時まで児童館において

入会御希望の方は

電

鈴木

電

西山

まで御連絡下さい。

“つきみ野文庫”へのお誘い

伊藤富喜子

皆さん、こんにちは。

新しくサークルの仲間入りをさせていただき
ました。

皆様方の御支援のたまものと感謝致しております。

“絵本のとりこ”になった母親

そんな母親達が集まりました。

ひとりでに読みたくなるような、読みだし
たらやめられなくなるような本を、なにげな
く、あるいは意識的に、積極的に、子供達の
まわりに備えつけてあげたい。

さらにそれらの本を、どの様に楽しませた
らよいのかを考え、大人も一緒になって、じ
つくり絵を見せながら、ここをこめて読ん
でかかせて、自由なおしゃべりを交換しあい
楽しみのひとときを持つことにより、本好き
な子供達に育ってくれたら……！

そんな願いをこめて、スタートしました。

自治会より助成金一万円をいただき、過日
の廃品回収の収益金、有志の方々の御寄付、
空地の除草による収入等々により、おかげ様
で百二十冊余りの絵本が揃いました。

ております。会費は千七百円です。

皆様方の御支援のたまものと感謝致しております。

毎週木曜日、四時～五時・児童館に於て、歌やパネルシアター、絵本二・三冊の読みきかせ、その後の貸し出と、毎回四・五十人の子供達が目を輝やかせて、絵本の世界に親しんでおります。

○○○○○○○○○○○○○○○○
どなたでも自由に参加できます。

一人でも多くの、お子さん達の御来館をお待ちしております。

書道部紹介

松原喜代子

現在会員十七名で、月二回、第一、第三水曜日午後、日本書学館審査員をしていただける川辺尚風先生を、児童館にお迎えして学習し

ております。会費は千七百円です。

漢字、かな、細字、条幅等、年と共に課題も多くなりましたが、皆楽しく、仲良く、練習に励んでおります。月一回、競書を提出します。又希望者は、展覧会に参加しています。くわしいことは、

五―一 北村

三―四 松原

にお尋ね下さい。

御紹介

五ノ三組に、着付けをなさる方が、越していらつしやいました。七五三や結婚式等の時に着付けて下さいます。出張もして下さいます。御用の方は

松野宅

まで お問い合わせ下さい。

短歌

手にとれば裏の藤色ふと恋し
老い果て逝きし母の羽織は

物言えぬ子にしありけり
行きずりの吾が手をとりにて道教えしは

二人共勤めに行きし娘の家に

我はも青き豆をむきつゝ

幾年を他郷に恋し故郷の山見て住む
老い初むる今を

虫の音の家をめぐる夜となり
楠の秀^はつ枝の月に光れる

一の一組 藤谷らい子



俳句

山根光野

初日の出 あびて真紅な 寒椿

飯盛山の緑 紅顔可憐の 武士偲ぶ

原爆忌 幾歳過ぎしも 涙新た

夏祭り 外人の子も 鉢巻し

赤トンボ スイスイまわる 初秋かな



自治会へ一言 山田律子

つきみの団地防犯連絡委員とは文字通り
つきみ野団地防犯連絡委員に過ぎないと私
は思うのですが、皆さんで検討 再認識し
てほしいと思います。

広報クイズ

当選発表 (八号会誌)

正解 **アコデイオン** でした

多数の正解者の中から次の方が
抽選により選ばれました

当選者 一ノ一

石田ゆり子さん

編集後記

納涼まつりも無事終り、学校等の、長い夏
休みも終つて、新学期が始り、子供さんのい
らっしゃる御家庭では、平常の生活に戻られ
たことと思います。九号誌いかがでしたか？
私達広報委員と云つても、素人で何もわから
なかつたのですが、なんとか出来上がりまし
た。これも一重に会員の皆様の御協力がいた
だけたからと、厚く御礼申し上げます。

始めての経験で、皆様の期待に添えるような
会誌に出来ませんでした事を深くお詫び申し
上げますと共に、十号誌を発行致します時に
は、会員の皆様の御支援、御協力を心からお
願い申し上げます。

尚会員の皆様の積極的な御意見、御要望をお
待ち致しております。

才 9 号

発行日 昭和 5 3 年 10 月

発行者 つきみ野自治会
役員・広報委員

発行所 浅 田 印 刷